

エアコンの購入費用の補助について

佐藤 龍彦



〔質問〕近年の「夏の暑さ」についての認識を伺う。

〔答弁〕〔市長〕近年、地球温暖化による気候変動の影響により、各地で記録的な高温や干ばつ、集中豪雨などの異常気象が多発している。本市においても、本年7月29日に観測史上2番目となる最高気温36.7度を記録し、7月21日から29日まで、9日間連続の猛暑日となるなど、記録的な暑さとなった。今後、地球温暖化がさらに進行すると、夏の猛暑や集中豪雨などがさらに激しくなると予想されている。本市としても暑

さによる健康被害のほ

か、線状降水帯やゲリラ豪雨の発生に伴う河川の氾濫、土砂災害や家屋の浸水、高温や渇水による農作物の被害など、さまざまな影響があるものと懸念している。

〔質問〕夏の暑さ対策や省エネ対策のため、全国各地でエアコンの購入費用の補助がされていることについての認識を伺う。

〔答弁〕〔市長〕近年、熱中症対策として、高齢者や障害者への購入等の費用について、補助を行なっている自治体がある。また、東京都のエアコン購入費用の補助についても、省エネを目的とした補助制度を高齢者や障害者の熱中症対策として活用し、補助額を引き上げた内容で

あるものと認識している。

〔質問〕本市もエアコンの購入費用の補助を実施することはできないか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現時点で市の窓口にて、高齢者などから、エアコンの購入補助に関する相談を直接受けた実績はない。また高齢者によつては、自宅にエアコンを設置していても使用していない方も多く、購入の補助ではなく熱中症対策として、適切な使用を促す取り組みが必要であると考えている。今後は、これまで実施しているクーリングシエルトの設置や熱中症警戒アラートの発表のお知らせなども併せて、適切なエアコンの使用など熱中症予防対策の周知強化に努めていく。

〔その他の質問〕

◎中央公民館のインターネット予約について

国のコメ政策転換と白石市の工業団地計画について

角張 大治



〔質問〕国が米の増産に舵を切る中、本市の工業団地計画をどう位置付け、どのように整合性を図るのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕工業団地整備を見直す必要はないと考える。生産者には代替地の確保に向けて情報提供など丁寧に対応していきたい。

〔質問〕工業団地造成による農地消失が、食料安全保障や地域の農業振興に与える影響をどう捉えているか。

〔答弁〕〔市長〕農業振興には、工業団地整備に関わらず、担い手の事業継続・確保・育成が不可欠である。

〔質問〕停止条件付土地売買契約を結んでいる地権者数、借地農家数、農地面積を伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕地権者数96人、借地農家数13人、農地面積24万1984平米。

〔質問〕契約期間(10年)内に企業誘致が実現しなかった場合の見解を伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕契約更新を考えている。

〔質問〕計画変更時の契約効力や地権者への影響について、市の見解を伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕企業募集の停止など、計画変更の考えはない。契約書にも契約期間内の解除に関する事項はなく、契約解除は考えていない。

〔質問〕経済的地域振興

効果における雇用創出や税収増など財政効果の試算を伺う。

〔答弁〕〔市長〕企業誘致と整備が完了した段階で判断できるものだが、本市経済に大きく寄与すると考える。

〔質問〕工業団地化と農地保全をどのように位置付けているのか、その理念・根拠・試算の有無を確認する。

〔答弁〕〔市長〕第六次白石市総合計画の重点戦略として「輝く未来地図戦略」を掲げ、持続可能なまちになるよう企業誘致や道の駅での販路拡大で市民所得の向上を図る。

〔質問〕ビジョンの検証・評価方法を伺う。

〔答弁〕〔市長〕総合計画・総合戦略推進委員会や地区懇談会、オンラインによるミーティングなどを通じ、市民の皆さまから検証・評価をいただいていると認識している。